

PCフォーラム

JA水郷つくばパソコン研究会会報

2024年2月号

<https://dappepc.com>

[mail:dappepc@gmail.com](mailto:dappepc@gmail.com)



担当部署：JA水郷つくば営農部

営農企画課

土浦市田中1-1-4

電話 029-823-7001



皆さん、いかがおすごしですか。

2024年ももう1か月が過ぎました。大寒を迎えて寒い日が続きますが、お体に気を付けてお仕事頑張ってください。

さて、研究会では3月末には総会を開催予定です。

皆さんご出席よろしくお願いたします。

詳細は次号でお知らせいたします。

また、2月から3月にかけては税金の申告時期ですね。青色申告簿記ソフトの使い方やe-Taxについてのご相談もぜひおいでください。会計ソフトの新バージョンでの帳票類の電子帳簿保存法も学習予定です。

習いたい方、得意なことを教えてくれてもいいよという方もぜひお力をお貸しください。

【今月の特集】

2023年の天気をふり返る

1～2月は低気圧と前線の影響をあまり受けなかったため晴れの日が多く降水量も少なめでした。気温は強い寒気が来た時もあったがおおむね平年並みでした。スギ、ヒノキの花粉については例年より多量の飛散となった、これは前年夏が「高温・多照・少雨」だったため花粉の生成に好条件となり、さらに春先の気温が一時異常に高かった時もあった事で多くなりました。

桜の開花は春の気温が高かったため3月14日全国で一番早く東京でさくら開花が発表されました。これ

定例会予定

2月6日、20日 WEB、13日 定例会 講座など

27日 PCフォーラム発行、講座など

3月5日 WEB 12日、19日 定例会 講座など

26日 総会

6月2日の大雨。5月20日に発生した台風2号は大型化して北上しました。6月2日沖縄付近を進んでいるところから本州に停滞していた梅雨前線に暖かく湿った空気を送り込み各地で大雨となりました。茨城県でも県南を中心に強い雨が降り土浦で6月2日と3日の2日間で300mm近い大雨となり、水田の冠水や土砂の流入、あぜの流失など耕地に大きな被害が出ました。台風2号は3日午後、伊豆沖で温帯低気圧となりました。

梅雨は、6月7日梅雨入り7月22日梅雨明けと発表されました。雨量は東京、横浜、千葉では平年の半分以下でしたが土浦、水戸、宇都宮では平年並みかそれより多めでした。

暑かった夏。梅雨が明けると太平洋高気圧の影響で連日のように暑い日が続きました。全国の観測点900ヶ所のうち9割以上が30℃以上の真夏日となり、そのうちの3割が35℃以上の猛暑日でした。

この暑さは9月半ばまで続きました。次の表は月の平均気温とその月の平年値を比べたものです。

月の平均気温と平年値との差（単位℃）2019年から2023年（土浦）

台風の発生は17個で平年値の25.1個より少なかった。台風の中心が国土から300キロ以内に近づく「接近」は9個、そして上陸はわずか1個でした。台風7号は8月8日に発生して北上し8月15日和歌山県潮岬に上陸しました。近畿地方を縦断して日本海へ抜けたが鳥取県で大雨となりわずか一日で8月1ヶ月分の雨が降る豪雨で災害が発生しました。その後日本海を北上して8月17日北海道沖で温帯低気圧となりました。台風も毎年いくつかは上陸しますが上陸なしという年もありました。1986年（昭和61年）、2000年（平成12年）、2008年（平成20年）、2020年（令和2年）の4つの年でした。

台風の大雨。台風13号は9月5日に沖縄沖で発生、7日に伊豆沖で温帯低気圧となりました。台風の期間は3日と短いものの台風くずれの低気圧の影響で9月8日、9日と関東の太平洋側に線状降水帯が発生して大雨となりました。日立市を中心に280mmの大雨が降り日立市役所が浸水するなど大きな被害が出ました。

まだまだ暑かった9月。「月の平均気温と平年値との差（単位℃）2019年から2023年（土浦）」の表で2023年の9月を見ると「3.6」となっています。これは9月の月平均気温がその月の平年値より+3.6℃高かったことです。また8月は「2.8」この8月、9月の高温の影響で稲作では「乳白米」「胴割れ米」など米の品質が悪化して1等米比率が前年比10～20ポイント悪く品質低下が問題となりました。

秋にかけても暖かい日が続きました。11月上旬でもよく晴れて温度が上昇、最高気温が25℃を上回る日もありました。気象庁のまとめによると2023年の日本の平均気温は153観測地点のうち7割で過去最高を記録しました。また残った観測地点のうちのこれもまた7割が2位と3位に入っているそうです。

この気温上昇は特に関東以北での地点の温度はそれよりも200キロから300キロ南の地点と同じ気温で、上昇がこのまま続いて行くと農産物の適地が北上していくと予想されます。

これは日本だけの問題ではありません。世界気象機関（WMO）は今年1月初め「2023年の世界平均

気温は産業革命以前と比べて1.45℃上昇した」と発表しました。

特に後半6月から12月はすべての月で最高気温を更新しました。これでは地球温暖化の状態がますます悪化するとして、今すぐに「温室効果ガス削減が必要」と訴えています。

今、世界各地で紛争が起き混沌としている中で難しいですね。

今月の特集は、狩野さんのお天気情報でした。

